

採用花卉一覧

※産地・品種・保管環境などにより
鮮度保持効果に差が出る場合があります
導入の前に、サンプル品をお試しください



科名 ナデシコ科
花名 カーネーション

FPEL 効果
しおれの抑制（葉）
変色の抑制（葉）
とろけの抑制（葉）
花もちの向上

エチレン感受性
極めて高い

推奨輸送条件
乾式

参考メモ
カーネーションほどエチレンに
弱い主要な切花品目はなく
STS処理が日持ちには必要



科名 リンドウ科
花名 トルコギキョウ

FPEL 効果
花もちの向上

エチレン感受性
やや高い

推奨輸送条件
湿式

参考メモ

- 栽培時は高湿度環境を避けることが必要
- 高湿度環境では灰色かび病の発生が問題となる
- STSと糖質の前処理により日持ちは延長するが糖質と抗菌剤を用いた後処理は前処理以上の品質保持効果を示す



科名 キク科

花名 ガーベラ

FPEL 効果
カビの抑制
花びらの傷み

エチレン感受性
低い

推奨輸送条件
乾式

参考メモ

- 日持ちは常温で10日前後
- STS剤の日持ち延長効果は期待できない
- 細菌に対する感受性が高いので抗菌剤と糖質を用いた後処理により退色が抑制され日持ちが延長する
- エチレンが問題とはならない
- 水揚げが問題になる品目と考えたほうがよいため、抗菌剤を含む水に生けると日持ち延長に効果がある
- 乾式輸送が一般的だが湿式輸送もある。乾式では低温輸送が絶対条件
- 糖質と抗菌剤を用いた処理が効果が高い

花名 菊

FPEL 効果
しおれの抑制（葉）
変色の抑制（葉）
とろけの抑制（茎）
花もちの向上

エチレン感受性
やや低い

推奨輸送条件
湿式

参考メモ

- 一般に日持ちは短いことが欠点
- STS剤の日持ち延長効果は期待できない
- 糖質と抗菌剤を用いた処理が効果が高い



科名 バラ科
花名 バラ

FPEL 効果
しおれの抑制（葉）
花もちの向上

エチレン感受性
やや高い

推奨輸送条件
湿式

参考メモ

- 日持ちは比較的短く湿度環境が大きく影響
- 日持ちは短い原因の1つは導管の閉塞で水分状態が悪化すること
- 導管閉塞の最大原因は細菌の増殖でこれは抗菌剤処理で抑制可能
- 乾式輸送により日持ちは短縮しやすいが湿式輸送だと日持ちは短縮が抑えられる
- 糖質と抗菌剤の処理が日持ち延長に効果



科名 ユリ科
花名 ユリ

FPEL 効果
花もちの向上

エチレン感受性
低い

推奨輸送条件
乾式

参考メモ

- エチレンに対する感受性が低いが低温保管だと感受性が高まる
- 水揚げは極めてよく、細菌は問題とならない品目
- ほとんどが乾式輸送だが低温輸送が必須